

三陸創造プロジェクトについて

1 考え方

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域の早期の復旧、復興はもとより、長期的な視点に立ち、多くの人々をひきつけ、多様な人材が育まれる、将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指す。

2 プロジェクトの特徴

横断性・創造性・独自性・長期性・多様な主体との連携

3 5つのプロジェクト

- ① さんりく産業振興プロジェクト
- ② 新たな交流による地域づくりプロジェクト
- ③ 東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト
- ④ さんりくエコタウン形成プロジェクト
- ⑤ 国際研究交流拠点形成プロジェクト

4 プロジェクトの取扱い

復興計画期間内で取組を進めた成果として、より具体的な展開が図られてきていることから、次期総合計画においては、復興実施計画に記載する取組の内容に応じて、それぞれのアクションプランや重要構想(プロジェクト)に振り分けて、再構成する。

3 東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト

1 目的

東日本大震災津波により被災された方の故郷への思いや未曾有の大災害から得た経験を確実に次世代に継承し、その教訓を「防災文化」として将来に生かすことによって、いわての防災力向上など災害に強いまちづくりを推進する。

2 主な取組実績

- アーカイブシステム「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の構築
- 東日本大震災津波伝承館の「震災津波伝承施設展示等基本計画」の策定、展示等実施設計の完了、展示製作業務の着手
- 「高田松原津波復興祈念公園基本構想」、同基本計画の策定、公園工事の着手
- 県内全市町村における「いわての復興教育」の推進

3 復興計画期間後の取組方向

- 「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の周知と活用促進による教訓の継続的な伝承
- ラグビーワールドカップ2019™開催前の東日本大震災津波伝承館の開館
- 2020年度末を目途に高田松原津波復興祈念公園を順次整備供用
- 震災の経験がない児童が入学する中での「いわての復興教育」のさらなる推進

1 さんりく産業振興プロジェクト

1 目的

安全・安心で高品質な製品の提供や高い生産性と収益性を実現する農林水産業の振興、三陸地域の資源を生かした地場産業の振興や新産業の創出などにより、広く三陸地域全体の産業の振興を図る。

2 主な取組実績

- ラグビーワールドカップ2019™に関連した商品の開発等を通じた農林水産物の付加価値向上
- 釜石港でのガントリークレーンの供用開始と宮古・室蘭フェリー航路開設に向けた受入態勢の整備
- 大型外航クルーズ船の宮古港への寄港決定と釜石港外貿定期コンテナ航路の開設
- 3次元積層等新技术に関連する高度人材の育成の促進

3 復興計画期間後の取組方向

- 農林水産物を使用した新たな商品開発に向けた取組の支援
- 復興道路やフェリー航路など新たな交通ネットワークを活用した産業振興や交流促進
- 東アジアをターゲットとした中小企業の海外ビジネス展開の推進
- 県内企業の産業競争力強化と「ものづくり革新」の推進

4 さんりくエコタウン形成プロジェクト

1 目的

三陸の地域資源を活用した再生可能エネルギーや省エネルギー技術の導入を促進し、災害にも対応できる自立・分散型のエネルギー供給体制を構築することにより、環境と共生したエコタウンの実現に向けた取組を推進する。

2 主な取組実績

- 太陽光発電を中心とする発電施設の立地
- 自立・分散型エネルギー供給システムの整備に関する市町村等の計画策定への補助の実施
- 県産材を活用した住宅に対する補助の実施
- 水素利活用に向けたセミナー・勉強会等の開催や調査研究の実施

3 復興計画期間後の取組方向

- 事業者との連携等による大規模発電施設の立地を促進
- 自立・分散型エネルギー供給システムの整備に関する市町村等の計画策定を支援
- 住宅における県産材活用促進に向けた施策の検討
- 水素利活用の理解促進に向けた取組の実施

2 新たな交流による地域づくりプロジェクト

1 目的

復興活動を契機とした交流人口の拡大や、豊かで多彩な自然環境、地形・地質、岩手の風土に根ざした歴史の中で育まれた文化遺産や伝統芸能などを生かした地域ツーリズム等の展開を通じて、新たな岩手ファンや観光客などとの交流拡大により、三陸地域における一層の観光振興、定住・交流の促進を図る。

2 主な取組実績

- 三陸DMOセンターによる観光人材の育成
- 「いわて復興応援隊」等の活動支援による地域活性化
- ラグビーワールドカップ2019™の釜石開催に向けた機運の醸成や受入態勢の整備
- 三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会が発足

3 復興計画期間後の取組方向

- 観光推進体制の整備と広域的な誘客の促進
- 復興支援員・地域おこし協力隊などの制度を活用した若者の移住促進
- ラグビーワールドカップ2019™釜石開催を通じて得られるレガシーの継承による交流人口の拡大
- 三陸防災復興プロジェクト2019の開催

5 国際研究交流拠点形成プロジェクト

1 目的

三陸地域における「海」や「地質」などの資源や潜在的な可能性を生かしながら、国際的な研究プロジェクトの実現や、海洋研究の国内外研究者等の調査・研究活動の促進とネットワークの形成などを通じて、三陸から世界をリードする国際研究拠点を形成する。

2 主な取組実績

- 「東北ILC準備室」の設立、「岩手ILC連携室」の設置
- 三陸海域研究論文知事表彰の実施を通じた三陸地域での海洋研究活動の奨励
- 釜石市沖が海洋再生可能エネルギー実証フィールドに選定
- 「いわて沿岸北部洋上風力発電事業化検討協議会」の設立

3 復興計画期間後の取組方向

- 東北ILC推進協議会などの関係団体と一体となったILC実現に向けた要望活動の強化
- 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海域研究センター等の復旧等を契機としたネットワークの強化
- 研究開発プロジェクトの誘致等を通じた実証フィールドの利活用の促進
- 洋上風力発電実現に向けた取組の推進